

◆ 平成 28 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 一二三富の会

19A-16

代表者：代表理事 浜端英男

URL : <http://hifumitominokai.wix.com/hifumitominokai>

1. 活動が必要とされた状況

坂戸市では、宅地開発や区画整理のために貴重な樹林地の伐採が進み街の緑は急激に減少している。この現況を憂慮し当団体は既存緑地の保全と緑のまちづくりをモットーにして活動している。その中で心ある平地林所有者から放置状態の桧林 0.6ha を市民のために整備し活用して欲しいとの意向を受け、「市民の森」の位置付けにおいて当団体がその整備事業を引き受けることとなった。整備事業は H26 年度に着手して現在継続中である。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

本年度は前年度に引き続き、領域全体の笹竹雑草木刈込、桧の間伐、間伐材の用材化およびチップ化、林相改良の植樹などを主体とした整備作業を実施した。

- ① 実施日数：整備作業は 28 年 4 月 17 日～29 年 2 月 8 日までに 25 日回実施した。
- ② 参加員数：参加延員数は 246 人であり 1 回当りの平均参加者はほぼ 10 人に相当する。
- ③ 主な作業内容
 - ・ 林間の刈込：雑草木の刈込は年間で 15 日回実施した。
 - ・ 桧間伐：年間で 12 日回実施し 68 本の桧を伐採した。
 - ・ 伐採材の処理：伐採桧の幹部分は林間諸施設に利用するため皮むき及び製材処理(8 本)を行い用材に整えた。
 - ・ 伐採材のチップ化：残る伐採材はマシンを用いてチップ化し遊歩道整備の敷き込み材とした。年間を通じチップ化作業は 13 日回実施した。
 - ・ 植樹：間伐による空間整理のあと林相改良のために落葉広葉樹のクヌギとコナラ各 25 本を植樹した。
- ④ 森の勉強会開催：28 年 5 月 29 日に樹木医堀大才先生を招いて森と樹木に関する現場勉強会を開催した。参加者は当会会員 12 名。



桧伐採後の処理作業



伐採材のチップ化作業



森と樹木の勉強会の様子

3. 活動の成果

3 年間にわたる整備事業はほぼ計画通りに進み、基本的な森の空間整備を一段落した。その成果を踏まえ、今年度、坂戸市に対し“市民の森”として認定申請を行う段階までに至った。ただし“市民の森”としての供用の観点からはさらに下記の課題が残されている。

4. 今後に残された課題

- ① 坂戸市“市民の森”としての認定取得に努力すること。
- ② 快適な森林空間を創り出すため、桧の間伐と落葉広葉樹の植樹を継続して実施して林相の改良を図ること。
- ③ “市民の森”としての活用を考えた基本施設（ベンチ、テーブル、遊歩道、柵など）の整備を行うこと。